



2012海峡映画祭

(山口新聞特別編集委員 佐々木正一)

ゲストとの交流会に参加 若い芽の成長に感動

その催しの会場には「2012海峡映画祭 クローリング・パーティー」と大きく書かれた看板が掲げられていた。7月6日から8日まで3日間にわたり、下関のシーモール内で開かれた映画祭の最終日、フィナーレを飾るイベントだった。

映画祭のゲストが全員参加し、市民と交流する催し。ゲストは映画界からは佐々部清監督、そして佐々部監督が長府高校陸上部の女生徒を主人公に描いて今や青春映画の金字塔と評価される「チルソクの夏」の女生徒に扮した桂亜沙美さん、三村恭代さん、佐々部作品を多く手掛ける臼井正明プロデューサーらが駆け付けた。地元からは映画祭の顧問格でもある直木賞作家・古川薫さん、そして1月に芥川賞を受賞したばかりの田中慎弥さんも参加されるなど、総勢100人を超える多彩な顔ぶれの交流会になった。

そこに「若い芽を育てる会」から水内知子会長、御手洗みよこ副会長ら10人の方々も参加され、各界各層の方々との交流されていた。

「チルソクの夏」は長府高校などを主舞台にロケしてから今年で10年。ロケの翌年に公開されたこの映画は、下関では5カ月近く映画館上映が続くなど記録的な大ヒット作になった。

しかし、現代の下関の高校生の多くは「聞いたことはあるが見たことはない」というのが実態。映画祭の期間中、この映画に実名で登場した長府高校と豊浦高校の生徒約400人を映画祭会場に招待。授業の一環として映画鑑賞、そして監督や出演者によるシンポジウムも開くという画期的な催しも開かれた。

女生徒役4人は映画公開時は15～・歳、みんな無名で「若い芽」そのものだった。4人のうち上野樹里さんはご存じのように映画公開後に大ブレイク、若手人気女優として引っ張りだこに。昨年の映画祭には来場されたが今回は日程がとれず不参加となった主演の水谷妃里さん、会場でひとときわづらわっていた桂さん、三村さんとも、テレビや舞台を中心に活躍中で、いま20代半ばを過ぎた彼女たちの成長ぶりに、若い芽を育てる会の皆さんも、「芸術家の育成、交流によって豊かな文化、温かい人間的なつながりを持った地域社会を」という会の趣旨の重要性を、あらためて感じているようだった。



映画監督 佐々部清さんの楽しいトーク



芥川賞作家 田中慎也さんを囲んで

第1回受賞者藤田卓也さんは、下関生涯プラザ2周年記念「New Spring Concert～音楽が満開に彩る夕べ～」オペラコンサートを3月開催、現在県内外で活躍されています。

第2回受賞者松浦孝さんは、今年山口県展でテラコッタ彫刻(秘密)が入賞されました。また特別賞受賞の小泉さんや福田さんも皆それぞれの場所で活躍されています。



藤田卓也主演「オペラ」



♪ 助成希望者を募集しています ♪

音楽、美術、演劇、映像、その他芸術文化に携わる方、ご応募お待ちしております。

助成内容等詳細は、ホームページ・事務局にお問い合わせください。

…追記…

NHK・TYS・J:COMのTVで放送された映像から一部抜粋して掲載しました。

今年度特別賞受賞者 安森信さんの写真(最終審査会場で撮影)を一部掲載しました。



〒752-0972 : 下関市長府古江小路2-13 末松方
TEL・FAX : 083(292)2725
E-mail : wakaime.hana@jcom.home.ne.jp
ホームページ : http://ymat2010.org/



会員の皆様ご覧になっていただけましたか！！

若い芽を育てる会も今年創立4周年を迎え、ますます充実して参りました。テレビや新聞など多くのマスメディアから取材を受け、TVのニュース番組に、当会の支援活動(公開審査)や交歓会(受賞者によるコンサート)の映像が流れ、番組を見られた方から励ましのお言葉をいただきました。



J:COM下関連携「いきいき市民講座」に出演
平成24年7月14日 J:COMスタジオで収録、
J:COMチャンネル下関で「8月8日～14日まで
(毎日15:00～、月～金・日20:00～、土23:00～)」放映されました。

NHKニュース番組 24年5月



TYSニュース番組 24年6月



いきいき市民講座は、地域社会の活性化と人材の育成に貢献することを目的とした番組です。

私たちは、この番組を通じて「芸術・文化 若い芽を育てる会」の活動をより多くの方に、知っていただきたいと思い出演しました。収録は1時間の長丁場で、こんなに長く取材を受けながらカメラの前で、お話しするのは初めての体験でしたので、本当に緊張しました！！

会の支援活動や「発足～現在まで」過去3年間の流れを、映像とともに、パネルで詳しくご紹介することができて、改めて自分たちがやってきた活動を、再確認することができました。

いきいき市民講座

若い芽を育てる会の支援活動

芸術活動が特にその初期において、経済的、物理的、精神的なさまざまな支援を必要とすることを考慮し、若き芸術家たちがこの地域社会で活動できる場を提供しようとするものです。

分野

音楽、美術、演劇、映像、その他芸術文化に関わる意義深い諸活動

「若い芸術家の夢を育てよう」

第3回受賞者結果発表

【奨励賞】

第3回支援者は、宇部市在住のピアニスト、尾形大介さんに決定！！

音楽、写真、演劇等々の各分野から14名の応募があり、1次書類、2次専門、最終審査（梅光学院スタージェスホールにて公開審査）期待度や地域貢献度など5項目で選定、尾形さんに助成金50万円を贈りました。

〔尾形 大介〕

武蔵野音楽大学・大学院修了後ヨーロッパに留学、リスト音楽大学（ハンガリー）で学びディプロマ取得、ハンガリー政府奨学生、文化庁芸術家海外研修員、伊藤国際教



2012年は、私にとって大きな変化の年でした。10年に渡るドイツ・ハンガリー留学生生活を修了し、日本で帰国後初のソロリサイタルを東京と山口で開催、日本での活動をスタートすることが出来ました。また、NPO法人『若い芽』で助成賞をいただき、自分の積み重ねてきたものを認めて頂いた事、とても嬉しく思っております。これからは、自己鍛錬はもとより、世界の『若い芽』達とのコラボレーション、クラシック普及のための企画コンサート等も積極的に行っていきたいと思っております。



【牛尾シズエ特別賞】

長門市在住の写真家 安森信さん、広島市在住の箏奏者 木原朋子さん、山口市在住の声楽家 坂井里衣さんに助成金を贈りました。

〔安森 信〕日本写真映像専門学校卒業

『NPO法人芸術・文化若い芽を育てる会』の2012年牛尾シズエ奨励賞に選んで頂き誠にありがとうございました。最終審査に残った僕以外のみなさんは音楽家で、様々な国で活躍されている方ばかりだったので選んでいただけるとは思っていませんでした。これを機に、さらに自分の写真の幅を広げ世界に羽ばたく写真家になっていきたいと思っております。そして、いつか皆様に恩返しができるよう日々写真道に精進します。』



〔木原 朋子〕エリザベト音楽大学大学院後期博士課程に在籍

この度は「牛尾シズエ奨励賞」をいただき、誠にありがとうございました。「箏」という日本の伝統楽器で受賞出来た事は、私にとって大きな喜びであると同時に、今後の活動への自信にも繋がっています。私の音楽基盤である古典の研究を大切に続けながら、ジャンルにとらわれず様々な事にチャレンジして、「箏」の可能性を広げ、「箏」の魅力を世界に発信していきたいと考えています。これからも、応援をよろしくお願いいたします。

〔坂井 里衣〕エリザベト音楽大学大学院後期博士課程に在籍

「受賞の喜びや抱負」この度は、貴会の特別賞を賜り、誠にありがとうございました。身に余る光栄に存じます。新聞やテレビなどをご覧になった方々からも、たくさんの励ましの言葉を頂き、音楽家として歩んでいく、大きな支えとなっております。しかし、これまで以上にステージに立つ責任も感じるようになりました。これからはたくさんの音楽と触れあっていくことになると思いますが、少しでも大きな喜びを観客の方々と享受できるよう努力して参ります。



特別審査員（日本舞踊家 花柳 三吉）

いゝ環境 それぞれの才能 そして自分自身の努力 おひとりおひとりが目的としている音楽であれ声楽であり、工芸・絵画・能・日本舞踊・バレエ……等、個人が創り出すもの空間をうめつくすものを大切にしたいと思っております。それぞれの道に向かって進んでいる姿に、感動と感激を……そして生きるエネルギーをいただきました。可能なかぎりの未来へ向けて、気持ちいっぱい努力してください。若い方達のこれからの御活躍を楽しみにいたしております。

特別審査員（ピアニスト 川田健太郎 NPO芸術・文化若い芽を育てる会 社団構成員）

今年、初めて特別審査員として、最終審査に参加させて頂きました。参加される方々と同年代であり、1人の芸術の世界に身を置く者として、今現在の芸術、文化面で感じる私の視点で、とても興味深く、全身全霊で当日の空気を感じさせて頂きました。初の試みとして、梅光学院大学のホールにて、一般公開の中、ファイナリストの方々の情熱に触れる事が出来、やはり芸術は『生』に勝るものはないと強く感じる日となりました。その瞬間に居た者だけが共有出来る空気がそこにはあります。活動を支えて下さっている会員の皆様、来年度の最終審査では、1人でも多くの方に直接会場で、若い原石の芸術に触れて感じて頂きたいと思っております。そして、心に残ったファイナリストに、勇気を出して、声をかけて頂きたい。例え、その日選ばれなくとも、その『一言』が、芸術家に対し、どんなに支えとなるか。それは、もしかしたら、コンクールで優勝する事よりも、価値のあるものとなり得るのです。

～ 公開審査 梅光学院大学スタージェスホール H24.6.9 ～

今年度は、音楽部門からピアノ・ヴァイオリン・チェロ・コントラバス・サクソフォン・トランペット・箏・声楽、伝統芸能（狂言）、演劇、映像、写真、ダンス等々 多種多彩な分野で活動されている有能な若い芽達が応募して来られました。最終選考は会員の方々にも審査状況を是非見ていただけたらと、梅光学院大学協力のもと、ホールを借り切って開催しました。



（学生 女性22歳）

凄いなと思いました。活動をしたいと思ってる方達の演奏の姿を見ていて勉強になったし、とにかく演奏が凄かった。

（市役所勤務 女性24歳）

審査のオーディションなんて見る機会はめったに無いので貴重な体験でした。当日は、見学者が少なかったのもったいないと思いました。モット宣伝をして、沢山の人が知っていたら良かったとおもいました。

（無職 女性56歳）

素晴らしい演奏家の人たちばかりで、関係者に聞いたら桐朋学園大学卒・武蔵野音楽大卒・国立音楽大学卒等々、物凄い人たちが受けに来てるのが判り、自分の様なものがここに来れた幸せを感じました。これからも、若い芽の活動を、小さいながら支えていこうと思いました。

（会社員 女性20代）

まさに圧倒！こんなに本格的な芸術にふれることができるのは、私も主人も全く想定していませんでした。

は公開セレクションをされると聞き、参加させて頂きました。

ピアノ、声楽、琴、写真などの幅広い分野の方々の、熱い想いを込めた作品や演奏は本当に素晴らしい。日頃、芸術に疎い私たちでさえ、心を幾度となく揺さぶられました。「本物ってすごいだね」、「どの方も素晴らしいから、の中から誰か1人を選ぶのって大変だね」と素人ながら、選考という観点の楽しみながら演奏を聞かせていただきました。

もちろん演奏や作品だけでも十分なのですが、特に興味深かったのが、アーティストの方々のコメントを聞くことができたことです。どんな人生経験してきたのか、どんな思いでこのセレクションを受けたのか、これからどんな活動をして芸術分野を活性化させていきたいと考えているのか、その人間性に触れることができ、その真摯に芸術に向き合い、自分の限界に挑むその姿は、人として尊敬する部分も多々あり、心を正されたような、そんな気分させて頂きました。

会終了後、その足で主人とホテルを見に行きました。去年見た時よりも、ホテルの光が清々しくそして力強いように感じたのは、きっと、若い方々の芸術に対する熱い想いに少しだけ感化されたからかもしれません。

第3回通常総会で、23年度の事業及び収支報告並びに23年度の事業及び事業予算の御承認を頂きました。				
平成23年度 特定非営利活動事業会計収支計算書 (H23.4.1～H24.3.31)			特定非営利活動法人 芸術・文化 若い芽を育てる会	
科目	金額		科目	金額
I 収入の部			II 支出の部	
1 財産運用収入			1 事業費	
受取利息	43	43	・ニュースレターの発行	129,240
2 会費・入会金収入			・支援活動事業(奨励金等)	1,075,073
会費年会費	1,612,000		・文化活動主催・後援・総会等	278,819
寄付金(牛尾シズエ理事)	2,000,000	3,612,043		1,483,132
3 事業収入			2 管理費	
文化活動主催・後援・総会等	236,600	236,600	・入会案内等	144,390
4 その他の事業繰越金収入	59,907	59,907	・事務費・通信運搬・HP・その他	285,817
当期収入合計(A)		3,908,593	当期支出合計(C)	
前期繰越額	2,206,623	2,206,623	当期収支差額(A)-(C)	1,995,254
収入合計(B)		6,115,216	次期繰越予定額(B)-(C)	4,201,877